



えんだより6月号(2026)



入園、進級して2か月！子ども達もすっかり保育園に慣れ、自分の思い通りに過ごす姿が見られるようになってきました。先生方も、やっと子ども達の個性や特性を感じ取ることができ始めました。さ～、いよいよ本格的な保育園生活の始まりです。先月は青空の下散歩の練習をしたり、毎日のお歌に心を弾ませたり、又年長さん達はお当番や、いろんなお約束をみんなで守ることの大切さなどを学んでいました。年長さんは園全体のごみ当番も始まり、夕方には自信満々に『職員室のごみを集めにきました。』『有難うございます！宜しくお願いしますね。』使命感に燃えたお顔をしています。しばらくたって『終わりました！』『有難うございました！上手に出来ましたね。』言葉では言い表せないようないいお顔！こうして皆は誰かの為に

まんの少しの力や心を寄せることを覚えていくようです。



「できた～！ぼくの傘、お行儀がよくなった……」

ここ何回か傘の出番がありました。その都度、傘のたたみかたや、くるくと丸めて片づけるお稽古をしました。最初はどのようにいいのかわからず戸惑っていた子ども達も、何度かお稽古すると自分だけの力で上手に傘をたたみ、傘立ての中にきれいに片づけることができるようになりました。それぞれが口をよがめ、必死に工夫をしていました。子ども達の横でお母さんたちがつい手を出しそう……『お母さん！気持ちわかりますが、子ども達の力を信じて、やらせてみましょう！』子ども達には『上手になったね～！…あなたの傘が一番きれいに片づけられてるよ……』たった傘をたたむといった小さな事柄で、大人がつい手を出そうですが、子ども達にやらせてみてはどうでしょう。今では、ほとんどの子ども達が上手に傘の始末ができるようになっています。本当に凄いことです！

こうしてその月齢にあった子ども達の自立がはじまりました。その自立は彼らの生きていく上で大きな財産となることでしょう。「いつまでもいつまでも、おちびちゃんでいてほしい！…いやいやもっともっと大きくなってほしい……」親御さんの気持ちを横目に皆さん子ども達は確実に大きくなろうとしています。たくまし子ども達のこれからが楽しみです……